パーフェクトシルキー

標準タイプ

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

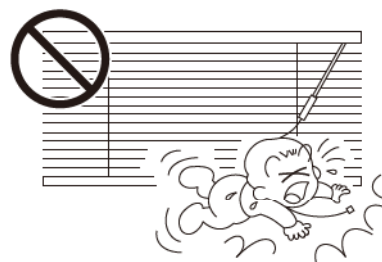
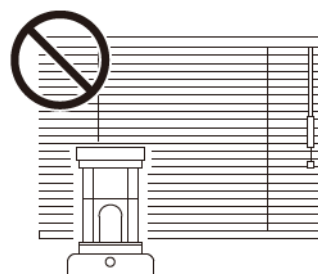
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

してはいけない禁止の行為です。

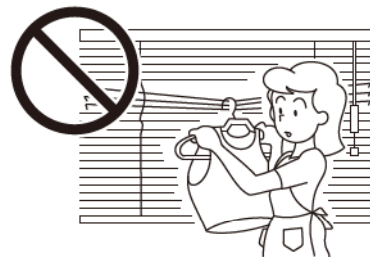
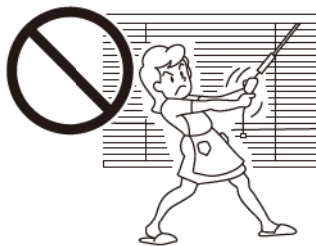
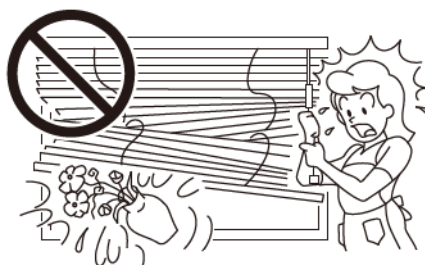
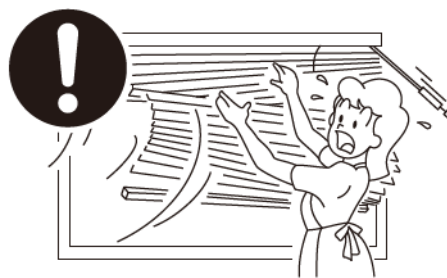
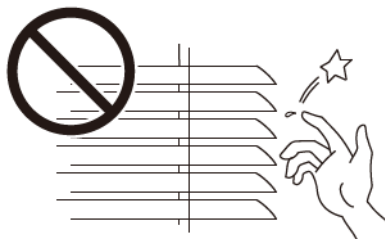
必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

⚠警告

■お子様を製品に近づけないでください。
スラット（羽根）やコードに引っ掛かる、コードが首に巻きつくなどして思わぬ事故を招くことがあります。

■火のそばではご使用にならないでください。
製品が溶けたり、燃えたりして危険です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

■ 製品にぶらさがったり、無理に引っ張ったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをする場合があります。

■ 製品の動く範囲内に人や動きを妨げるものがないようにしてください。けがをしたり、ものが破損する場合があります。

■ 窓を開ける時は、できるだけスラット（羽根）をたたみ込んでください。特に風の強いときは注意してください。製品の破損や、思わぬ事故につながる場合があります。

■ スラット（羽根）は、端部を不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告

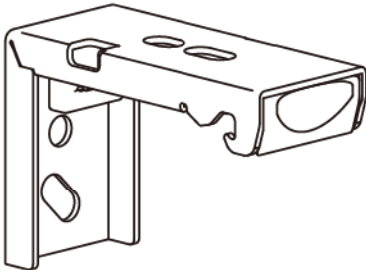
❶ 製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

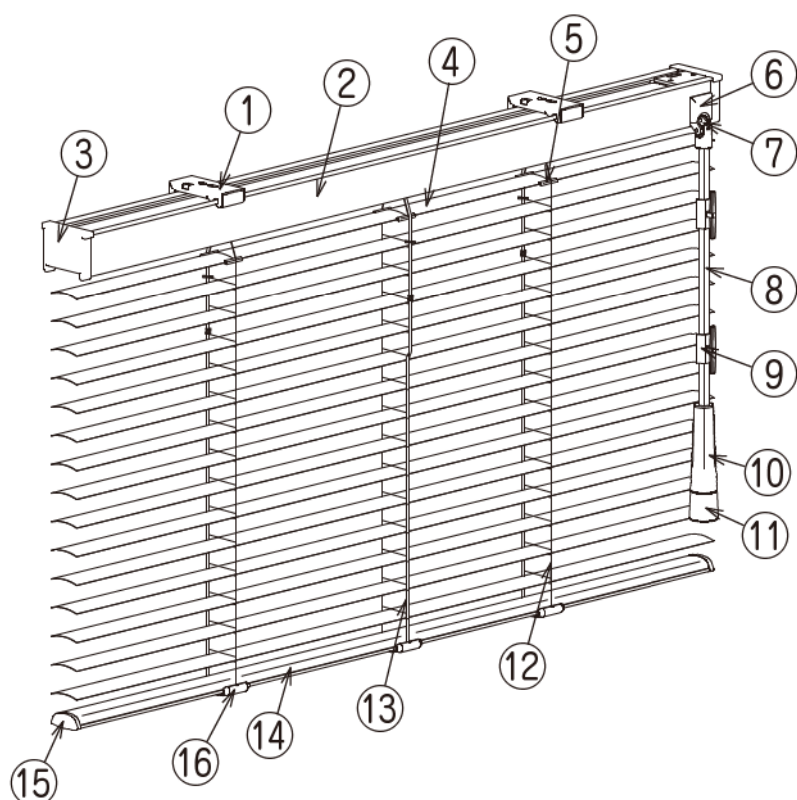
⚠ 注意

❶ 付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

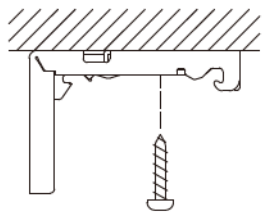
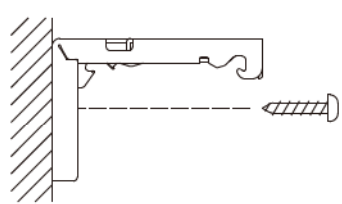
❶ 本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

使用環境上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

この製品は屋内用として作られたものです。屋外では使用できません。

各部の名称

① 取付けブラケット
② ヘッドボックス
③ ボックスキャップ
④ スラット
⑤ スラット押さえ
⑥ チルトカバー
⑦ チルトギア
⑧ チルトポール
⑨ コードフック
⑩ グリップ
⑪ イコライザー
⑫ ラダーコード
⑬ 昇降コード
⑭ ボトムレール
⑮ ボトムキャップ
⑯ テープホルダー

付属部品

部品名称 / 製品幅（mm）	取付けブラケット	取付けビス（木部用）
550～1500	2個	4本
1510～3000	3個	6本

※ 製品発注時にレールビス（カーテンレール取付け用）を頼まれた場合は、ブラケットと同数分同梱されています。（専用のレールビス取扱説明書付）

※ 本仕様及び付属部品は、予告なく変更する場合があります。

製品の取付けかた

必要な工具：プラスドライバー・巻尺（スケール）

製品の取付けかたは、以下の 2 つの方法があります。

天井付け（窓枠内に取付ける場合）	正面付け（窓枠を覆う場合）

１）製品の確認

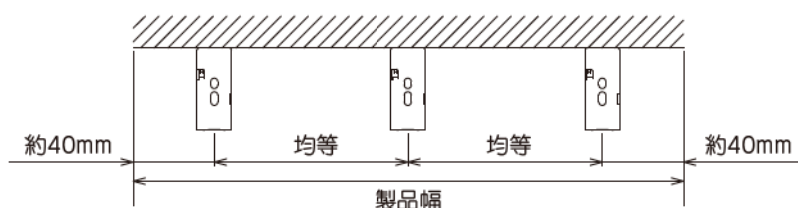
製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

２）取付け下地の確認

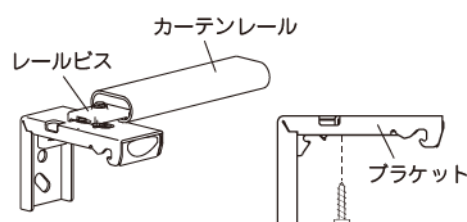
製品に付属しているビスは木部用です。木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

・木部に取付けるときは、厚みが10mm以上であることを確認してください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。
・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

３）ブラケットの取付け

・製品両端部より約40mm離した位置にブラケットをビスで固定してください。
・ブラケットが３個の場合は、両端のブラケット間を等分にした位置で、両サイドのブラケットと一直線上になるように取付けてください。
・正面付けの場合は、ブラケットが水平になるように取付けてください。

●カーテンレールへのブラケットの取付けかた（レールビス使用：製品発注時に指定の場合同梱）

別紙「レールビス取扱説明書」に詳しく記載しています。

①カーテンレール内のランナーを全て抜きます。
②右図のようにブラケットに組み込んだレールビスを、カーテンレールに通します。
③カーテンレール内にレールビスをスライドさせ位置を決めた後、ビスをドライバーで完全に固定してください。

製品の取付けかた

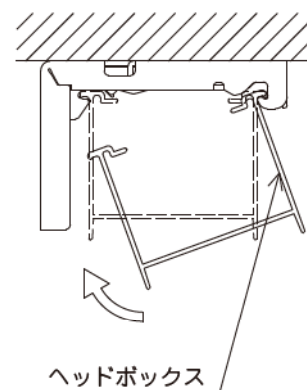
４）製品本体の取付け

①ヘッドボックスに付いている緩衝材等を取り除き、束ねているコード類はほどいてください。

②製品を両手で持ち、ヘッドボックス手前のツメをブラケット手前のツメに引っかけます。

③引っかけた状態で左右の位置を決めます。

④取付け位置が決まったら、ヘッドボックスを右図のように奥側に押し上げてください。ブラケットのツメがかかるとパチンと音がします。

⑤ヘッドボックスが確実に固定されているか確認してください。

注意 製品本体取付け時には、製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

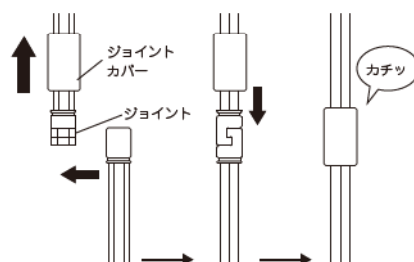
５）ポールの取付け

ポールはあらかじめ製品本体にセットされています。

ジョイントポール付きの場合は、下記手順にしたがって組み立ててください。

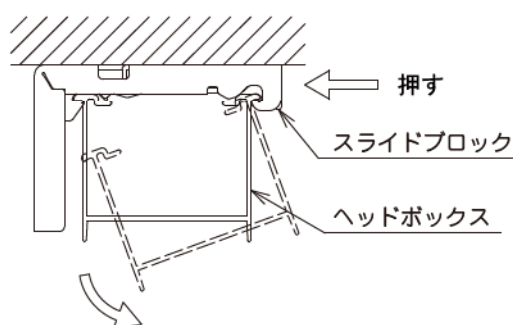
①ジョイントカバーを上げジョイント同士をセットします。

②ジョイントカバーを右図のように「カチッ」と音がするところまで下げてください。

③ジョイント部分が外れないことを確認してください。

製品の取外しかた

① 製品を完全にたたみ込んだ状態にします。

② 製品を手で支えた状態でブラケットのスライドブロックを押すと、ヘッドボックス後側のロックが解除され、前面のツメだけが引っかかった状態になります。

③ ②の状態からヘッドボックスを少し持ち上げるようにして、製品を取外してください。

注意 スライドブロックを押すときは、必ず製品本体を手で支えながらおこなってください。製品が落下し思わぬけがをすることがあります。

操作のしかた

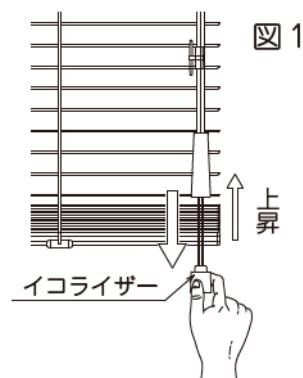
1）ブラインドの昇降操作

スラットは必ず水平の状態にして昇降操作をおこなってください。尚、昇降動作のストッパー機構は、昇降コード（もしくはイコライザー）を引くごとにロックと解除を繰り返す仕組みになっています。

●ブラインドを上げる場合

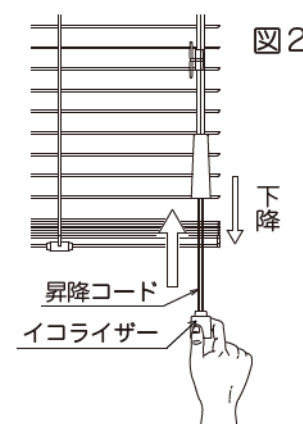
昇降コード（もしくはイコライザー）を下に引くとブラインドが上がります（図1）。

注意

・ブラインドを上げると、上げた分の昇降コードが引き出されます。引き出された昇降コードは、邪魔にならないようコードフックに掛けてください。
・スラットが全部たたみ込まれるとそれ以上は上がりません。無理に昇降コードを引かないでください。

●ブラインドを止める場合

再度昇降コードを下に引くとその位置で止まります。

●ブラインドを下げる場合

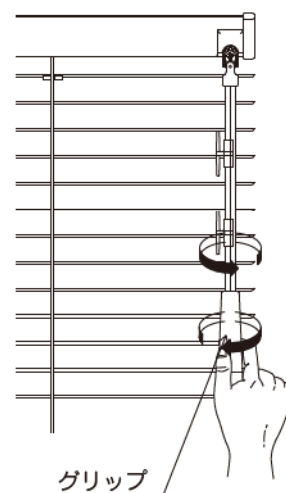
コードフックから昇降コードを外します。
昇降コードを少し下に引き、コードを持ったままゆっくりとブラインドを降ろしてください（図2）。

注意 ブラインドを下げる場合は、必ず昇降コード（もしくはイコライザー）を持って操作をしてください。手を離すとブラインドが勢いよく下降し、けがや破損の原因となります。ブラインドが止まるまでは、昇降コードから絶対に手を離さないでください。

2）ブラインドの開閉操作

グリップを図のように回すとスラット（羽根）が回転し、採光量を調節することができます。

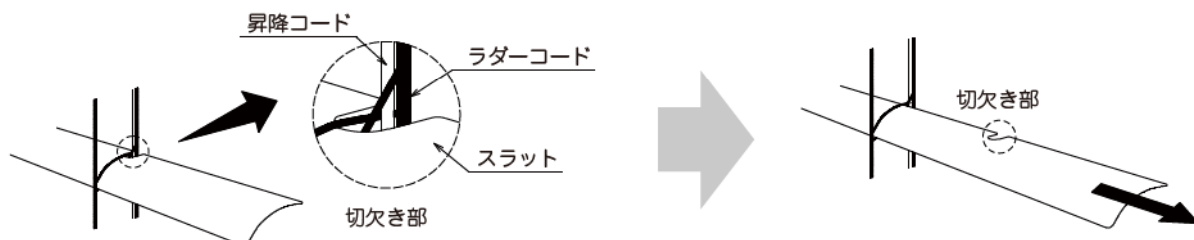
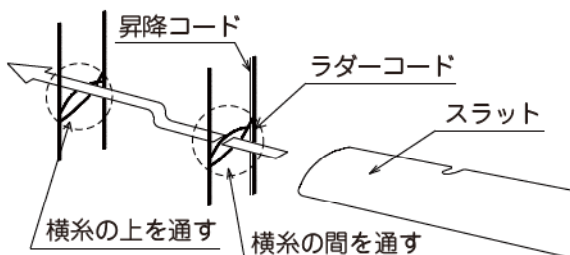
製品には、エンドクリック機能あるいはクリックチルト機能が搭載されています。

<エンドクリック機能>
スラットが回転し切ると、カチッと音が鳴り、それ以上回転しなくなる機能です。

<クリックチルト機能>
スラットが約20°回転するごとにカチッと音が鳴り、スラットが回転し切ると、それ以上回転しなくなる機能です。

注意 スラットが回転し切ると、それ以上は回転しません。無理にグリップを回さないでください。

スラット交換のしかた

昇降コードの穴がないため、昇降コードを抜くことなくスラットの交換が行えます。

①スラットの引き抜きかた
スラットには、製品両端部のラダーコード位置に切欠きがあり、ラダーコードと昇降コードを引っかけてあります。スラットを引き抜く際は、まず製品両端部の切欠き部に引っかかっているコード類を切欠きから外してから、切欠き部がコードに引っかからないように注意しながら横方向に引き抜きます。

②スラットの挿入のしかた
スラットの挿入は、製品両端部のラダーコードは横糸の間、両端部以外のラダーコードは横糸の上に挿入します。スラットを挿入し終わったら、スラットの切欠き部分にラダーコードと昇降コードを引っかけて完了です。

スラットを抜き差しする際、スラットの切欠きでコードが切れないように注意してください。

高さ調整のしかた

窓枠の下部にボトムレールが当たってしまう場合の対策など、ブラインドの高さを短く微調整したい場合に便利な機能です。

必要な道具：コイン・硬貨　※工具不要

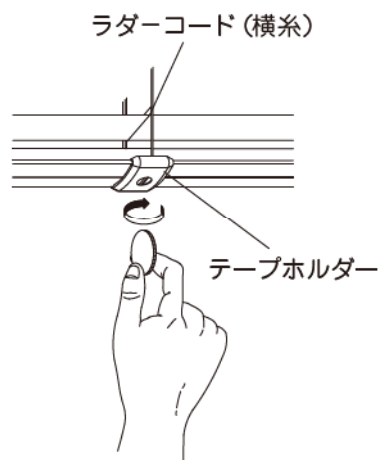
①テープホルダーのダイヤルにコインを差し込み右に回転させると製品高さを縮められます。

ダイヤル１／４回転で約５mm

高さを確認しながら少しずつ調整してください。

ラダーコードの横糸を切断すると約50mmまで短く調整することができます。

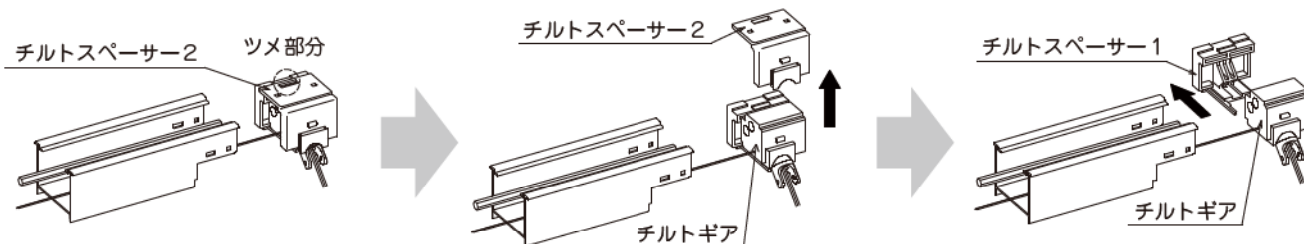
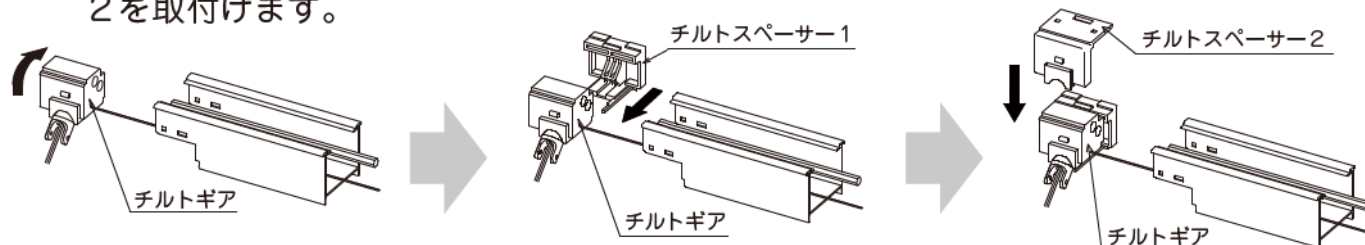
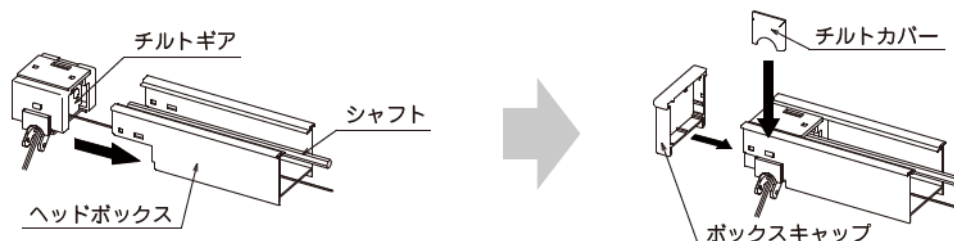
②調整の際は、ダイヤルの付いている全てのテープホルダーを同じ分回転させ高さを合わせてください。

※万が一縮めすぎた場合は、ダイヤルを元に戻します。回した方向と逆にダイヤルを回し、ラダーコードを手で引っ張ると元の長さに戻すことができますので、再度調整してください。

左右転換のしかた

部屋の模様替えなど、突然の家具の移動で操作しづらい場合に、操作位置を換えられる便利な機能です。
※左右転換前後で、製品の特性上昇降コード位置やスラットの切欠き位置が変わるので、製品の見た目が若干異なりますのでご注意ください。

必要な道具：工具等は必要ありません。

1）操作部側のボックスキャップとチルトカバーを外し、チルトギアを引き出します。

2）チルトスペーサー２の上面を持ち上げてツメ部分を外し、チルトスペーサー２を外します。次に、チルトスペーサー1を外します。

3）チルトギアを矢印の方向に90度回転させ、チルトギアにチルトスペーサー１、２を取付けます。

4）チルトギアをヘッドボックスに差し込み、チルトカバーとボックスキャップを取付けて完了です。
シャフトを挿入する際は、チルトギアに２つある穴のうち上の穴に通します。

注意 チルトギアを挿入するとき、コードのネジレ・からみなどがないようにしてください。

お手入れのしかた

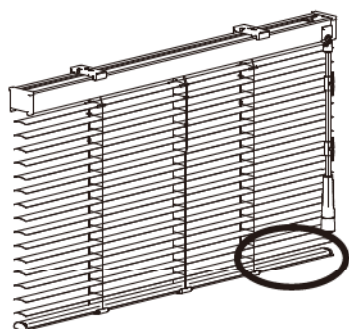
- ●日頃のお手入れは、羽根バタキ等でほこりを取り払ってください。
- ●油気の多いところでは、汚れをこまめに拭きとってください。
- ●汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めたものをご使用ください。また洗剤を使用した後は必ず水拭きをして、洗剤成分をきちんと拭きとってから乾かしてください。尚、住宅用中性洗剤の中には洗浄力が強いものも多いので、ブラインドのお手入れには、塗装膜保護のため台所用洗剤をおすすめしています。

こんなときは

ブラインドが降りないとき ストッパーが解除できないとき	商品出荷時には昇降コードが強く引かれてストッパーが固定されています。イコライザーを引きながら、昇降コードを1本ずつ下に引くと、ストッパーが解除されて通常通りに操作できます。
スラットの交換がしたいとき	工具不要でスラット交換ができます。8ページに記載している手順にしたがって交換してください。
ブラインドの高さを縮めたいとき ボトムレールが下に当たってしまうとき	高さ方向に短く微調整ができます。8ページに記載している手順にしたがって調整してください。
操作位置の左右を変えたいとき	操作位置を左右転換する機能が付いています。9ページに記載している手順にしたがって変更してください。

メンテナンスシールのみかた

製品にはその製品の色№、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けております。修理や部品交換等のお問い合せの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。
お問い合せの前に、あらかじめご確認ください。

【メンテナンスシールの貼付場所】

製品正面から見て、ボトムレール右側上面に貼り付けています。

【メンテナンスシールの記載内容】

お問合せの場合は、●部18桁（「−」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。

保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より３年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「スラット部」、「コード類」につきましては、無償修理期間をご購入日より１年間とさせていただきます。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。
※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社

本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

R70 PRINTED WITH SOYINK™

この印刷物は、環境に配慮し古紙配合率70％の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。

2012.07
943442